

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

「たまゆら」を繰り返さないために

特別養護老人ホーム増設を

6月18日からはじめた定例区議会で、共産党区議団は「たまゆら」のような施設に品川区民の生活保護受給者が入所しているとしたら、どんなところに何人くらいいるのか生活状況はどうなっているのかなど現地調査して質問しました。

バス停まで徒歩20分の
人里はなれた施設

10人もの尊い命を亡くした「たまゆら」火災は、さまざま問題を社会にさらけ出しました。自治体の人命・人権軽視、それを利用した貧困ビジネスの存在。

そこで、質問として取り上げるにあたって、品川区の現状を調査しました。

区議団が直接たずねた所は、入浴、介護、食事の提供はするものの施設表示は共同住宅で、有料老人ホーム設置運営指導指針に該当しません。

ひとつは、木造2階建ての民家を改修した施設で、エレベーターやスプリンクラーなし。バス停まで徒歩20分もかかる山の中にあります。車がすれ違えない狭い道路で、消防車を通れるのか、また、夜間は職員一人とのことで避難誘導できるのか疑問を感じました。もうひとつの施設もスプ

リンクラーなし、エレベーターにはストレッチャーが入らず、廊下で車椅子がすれ違えない、職員は献身的に働いていますが、これでは高齢者入所施設として落第です。

区の答弁は「都外の高齢者住宅を管轄する自治体への届出状況、消防設備や通報避難体制などの調査をした」として、そのような施設は10カ所、内4ヶ所は有料老人ホーム、2ヶ所は高齢者専用賃貸住宅、他4ヶ所は、有料老人ホームあるいは高齢者専用賃貸住宅の届出することになっていると説明。

また、安全確保などの改善を早急に取り組むよう求めると、「国、都に緊急要望を出した」と答弁。入所者の希望があれば安全な施設に移転をさせる



ことについては「(本人に)聞いていない」と『堂々』と答弁しました。自分の身の処し方を自由にできない状況にある方だけに、もっと心を寄せて対応すべきで、実態を調べたとはいっても、冷たい姿勢でした。

特養ホームの増設こそ最も必要な対策

やはり、特養ホームの増設をすすめることが最善の解決策だと思えます。

この点では、①小規模な特養ホーム、②グループホームなどを含む特養の増設で待機者の解消をととめました。答弁は、「小規模特養は難しい」、グループホームは「日常生活圏に一ヶ所つくる」、特養増設の具体化は、「敵地

の確保が今後の課題」というのみで具体的な計画について避けました。

また、国・都に補助金を求めるよう言う、「要請したい」。すべての区民が、『ついすみか』を確保でき、健康で健やかに暮らせるようにすることが自治体の責任です。

新型インフルエンザ

万全の対策を求める

新型インフルエンザの日本国内の発症は落ち着いてきたように見えますが、本当に安心できるのか不安は残ります。今年の秋ごろからまた流行りだすといわれています。そこで、区が4月以降取り組んできた対策の教訓を明らか

認可保育園の増設を求める

請願は否決されました

文教委員会で審議。賛成は共産党と生活者ネットのみ、自公民は反対。

にして万全を期す立場から質問しました。

区民の健康を守る保健所として、感染したら重症化する糖尿病患者や透析患者への対策、妊婦さんへの対策、地域医療機関との連携、また、学校や保育園・幼稚園、福祉施

設、区内商店街の打撃も出ている中でその対策など、数多くの問題があります。

答弁は、いち早く計画をつくり万全の備えをとったこと、保育園の休園の際は、人命にかかわる業務に携わる方の子どもは緊急に受け入れられる必要性が高くなることから国・都の要請を踏まえて対応する。経済的打撃を受けた区内中小業者については、融資制度などの相談に応じる。

指定医療機関の体制強化についての質問は、「医療対策の中心的役割があるので、都に対し体制強化を求める」と答弁。

今、国内は落ち着いていますが、南半球やアフリカなどでは感染が広がり、フェーズ6になりました。手洗い・うがい習慣化しましょう。

生活・雇用・子そだて・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523